

県南支部だより

CONTENT

- 県南支部長挨拶
- 令和6年度 日本看護協会通常総会参加報告
- 令和6年度 懇談会
- 令和6年度 支部研修会
- 令和6年度 看護の日イベント
- まちの保健室
- 第17回 県南支部看護研究発表会
- 施設紹介
(医療法人誠励会 ひらた中央病院)
- 令和6年度 支部役員・委員紹介
- 編集後記

公益社団法人 福島県看護協会県南支部

令和7年2月発行

写真／はなわダリア園

県南支部長挨拶



福島県看護協会 県南支部長

J A福島厚生連 白河厚生総合病院 鈴木 文子

平素より福島県看護協会県南支部の事業及び運営に格別のご支援とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

今年度も支部活動を通じて、地域との連携の輪が広がってきていることを実感しております。管理者懇談会では行政保健師による地域での認知症ケアに関する講演を実施して頂き、その後「地域連携」をテーマとしたグループワークを行いました。協会長にもご参加いただき、貴重な意見交換の機会となり、顔の見える連携づくりを進めることができました。

研修会ではACPの実践編として、事例カンファレンスを通じて意思決定支援についての理解を深めることができました。また、研究発表会では日常の看護実践につながる演題や事例報告が多く発表され、参加者全員で充実した意見交換を行うことができました。

地域貢献活動として、まちの保健室での健康増進活動や、看護の日イベント、出前講座を通じて看護の魅力を広く発信することができました。

令和7年度も、楽しく学びながらキャリアの向上につながる、魅力ある支部活動を目指してまいります。

結びに、皆様のご健康とご活躍を心からお祈り申し上げますとともに、引き続き支部活動へのご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和6年度日本看護協会通常総会参加報告



J A福島厚生連 塙厚生病院

菊池 由紀

令和6年度日本看護協会通常総会が、6月6日東京国際フォーラムにて代議員750名、一般参加者1263名が参加のもと開催されました。はじめに高橋弘枝会長より能登半島地震でお亡くなりになった方々へ哀悼の意と被災された方々へお見舞いの言葉が述べられました。また、石川県に災害支援ナースが55日間、27県協会からのべ2982名が派遣され活動したことや今年度から国による広域派遣や養成・登録の仕組みが開始となり、法律の下、より安全に災害支援ナースが活動できる環境が整ったことが報告されました。また、この1年の大きな成果として「看護師等の確保を促進するための措置に関する基本的な指針」の告示が挙げられ、処遇改善や資質向上、就業継続は看護職が生涯にわたりキャリア構築する上で大きな課題となります。量・質両面からの看護提供体制の確保とともに、各課題を改善・解決に導くものとして活用が期待されると述べられていました。それぞれの看護職が自身のキャリアビジョンを明確にし、実現できるように体制づくりが急務だと感じました。私達看護職の価値を一層高め誇りをもって働き続けていける環境づくりが出来るとういと感じました。

令和6年度 懇談会

令和6年9月13日(金)、須賀川市民交流センター tette (テッテ) にて、看護協会活動の理解・現場の課題共有をし、看護職能団体としての連携強化を図ることを目的とした懇談会が開催され、各病院や施設団体から参加者が集まりました。

はじめに福島県看護協会佐藤博子会長より福島県看護協会の2025年までの事業方針、令和6年度の重点事業についてお話がありました。そして看護協会に入会するメリットと看護職賠償責任保険制度を申し込む大切さの説明がありました。その後、棚倉町役場健康福祉課の土田明子様を講師にお迎えし「認知症支援のための地域連携の強化」の講演をいただきました。国の認知症施策の動向や棚倉町で実施している認知症予防・介護予防事業を知り得ました。「地域との連携をどうとっていくか」をテーマにグループワークも行い、地域包括ケアシステムについて皆類似した問題点を持っていた、各自治体の取り組みを知る事が必要といった感想が聞かれ、大変有意義な懇談会となりました。



令和6年度 支部研修会

令和6年10月11日(金)、白河厚生病院会議室において支部研修会が開催されました。29名が参加しました。

今年度も「ACP」を統一テーマとして、「あらゆる場面における意思決定支援～実践編～」について白河厚生病院総合診療科 宮下淳先生よりご講義頂きました。

第1部では、「臨床倫理について」「臨床倫理の4分割表」「4分割表の使い方」について講義されました。第2部では、事例を用いて、4分割表を活用しグループワークを行いました。退院支援カンファレンスとして、他職種になりきり、それぞれの立場から様々な意見を出し合うことができました。5グループ全部が同じ方向性で発表していました。患者さんの思いに添えた支援ができたと思います。改めて他職種と情報交換、情報共有の必要性、連携の大切さ、チーム作りを実感しました。「現場に活かせる内容でグループワークは良かった」などの感想が聞かれ、大変有意義な研修会となりました。



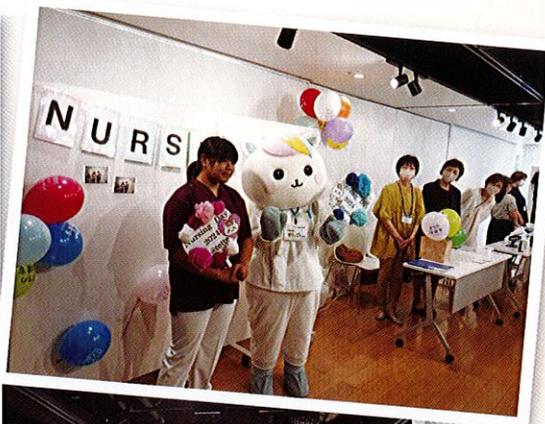
2024年 ふくしま 看護の日 イベント



令和6年7月27日に須賀川市民交流センターtette(テッテ)で開催されました。事前に中学生とその保護者等を対象に募集をしました。当日参加の方も含め、39名と多くの方が参加してくださいました。前年度に引き続きの「心音聴取」では、親子で聴診器を当てあって普段聞く機会の少ない心臓の音に感動していました。「赤ちゃん抱っこ」体験では、自分がどの位の大きさで生まれてきたか、生後間もない赤ちゃんの身体の柔らかさやおむつの小ささに驚いている姿もありました。「心臓マッサージ」「手洗いチェック」の体験型も大変人気で、順番待ちができるほどでした。「進路相談」では、白河厚生総合病院附属看護学校の職員の方に実際に来ていただき、相談に乗っていただきました。どこの高校に行けばよいか、何科を選択すればよいか等具体的な相談をしている方もいました。

今年度、新たに白衣試着を追加され、看護協会キャラクター「かんごちゃん」と一緒に写真撮影しました。写真をお持ち帰りできるため、色々な病院の白衣を試着しては撮影している姿が見られました。

今後も、イベント等を通して看護について興味を持っていただけるように、また、魅力を若い世代に知ってもらえるようにして活動していきたいと思えます。

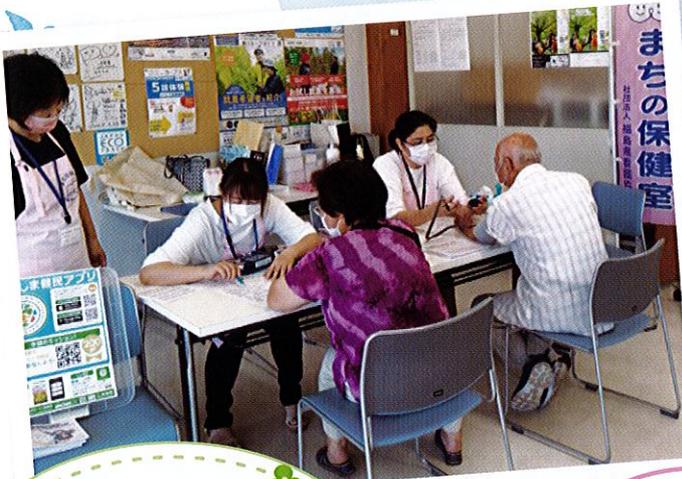


まちの 保健室

- 令和6年 5月10日 須賀川市 JA夢みなみ はたけんぼ
- 令和6年 8月 2日 棚倉町 JA東西しらかわ みりよく満点物語
- 令和6年 10月14日 白河市 しらかわスポーツフェスティバル
- 令和6年 11月 2日 白河市 しらかわJAまつり

本年度の県南支部事業・まちの保健室は上記の4ヶ所にて、血圧測定・体脂肪測定・手洗いチェック・健康相談等を行いました。今年度は新たに「握力計」を購入し健康相談に取り入れるなどフレイル予防をテーマに活動を行いました。また、利用される方の健康意識も高く、今年度は特に「食生活」を意識されている方が多いのが印象的でした。

今後も地域の方々のニーズに合わせた健康推進のアドバイスが提供できるよう、事業活動に取り組んでいきたいと思ひます。



棚倉町
みりよく満点物語

須賀川市
はたけんぼ



白河市
JAまつり



白河市
スポーツフェスティバル



令和6年度県南支部 看護研究発表会

演題 -SUBJECT-

福島県看護協会県南支部看護研究発表会は、12月14日(土)白河厚生総合病院内において開催されました。今年度は、7施設より10題の演題発表がありました。

座長は、第1群 医療法人三愛会 池田記念病院 鹿島葉子さん、第2群 福島県立ふくしま医療センターこころの杜 大津久美さんに努めて頂きました。

各施設での日々の看護実践や業務内容の中から疑問や問題に思う課題を明確にされ取り組まれた研究成果が発表されました。質疑応答では、たくさんの質問や意見、感想が活発に行われ他施設同士の情報交換の場ともなりとても有意義な時間となりました。

県南支部看護研究発表会が今後、たくさんの方に看護研究の実践や取り組みに興味を持って頂く機会になる事やさらなる県南地域の看護の質向上に繋がることを期待しております。

第Ⅰ群 5題

座長 医療法人三愛会 池田記念病院 鹿島 葉子

1. B病棟における術前せん妄発症の実態調査
..... 福島県厚生農業協同組合連合会 白河厚生総合病院 金澤 亜耶
2. 産婦人科病棟に異動になった看護師が抱く思い
..... 公立岩瀬病院 熊谷 明子
3. 一般科病棟における身体拘束最小化に向けた看護管理者の現状と展望
..... 福島県厚生農業協同組合連合会 塙厚生病院 兼田 彰央
4. TKA 術中の体温管理方法についての検討
..... 医療法人平心会 須賀川病院 園部 純菜
5. 透析室看護師によるプライミング・導入業務の介入
..... 医療法人社団恵周会 白河病院 猪俣 静子

第Ⅱ群 5題

座長 福島県立ふくしま医療センターこころの杜 大津 久美

1. 看護学実習に対する患者・家族の不安と期待
..... 福島県厚生農業協同組合連合会 塙厚生病院 富岡 崇
2. 自宅退院される患者家族の思いを聴く際に意識していること
..... 公立岩瀬病院 沼田 明里
3. OAGによる口腔ケアの実態 —1日4回口腔ケアを実施して—
..... 公益財団法人 会田病院 蛭川 峻
4. 入院中の患者の内服薬自己管理のヒヤリハットから見える管理方法の見直し
..... 南東北春日リハビリテーション病院 伊藤 景一
5. フットケア介入プログラムと多職種連携
—下肢大切断を宣告された糖尿病透析患者の意思決定支援を支える看護師の役割—
..... 福島県厚生農業協同組合連合会 白河厚生総合病院 中村 雅代



施設紹介

医療法人誠励会 ひらた中央病院



医療法人 誠励会
Healthcare Corporation Seireikai
ひらた中央病院

ひらた中央病院は、医療法人誠励会として平成13年に開設しました。以来、「職員一致団結 すべては患者様のため」を基本理念に掲げ、石川郡内唯一の入院可能な病院として地域の皆様に信頼される病院を目指して参りました。

現在、急性期一般病床36床、医療療養病床106床、合計142床の病床数です。関連施設として、デイサービス、居宅介護支援事業所、訪問看護ステーション、グループホーム、住宅型有料老人ホーム、介護老人保健施設展開しております。更に平成27年、川内村に千翁福祉会として特別養護老人ホームを開設しました。また、訪問診療も行っています。

高齢社会に伴う患者様、ご家族様からの様々なニーズにお応えできるよう、各関連施設と密に連携を図り、更に行政と連携し地域に密着した住民の健康や活力ある生活づくりのパートナーとして親しみ感じて頂ける病院、施設づくりを実践していきます。



高齢社会に伴う患者様、ご家族様からの様々なニーズにお応えできるよう、各関連施設と密に連携を図り、更に行政と連携し地域に密着した住民の健康や活力ある生活づくりのパートナーとして親しみ感じて頂ける病院、施設づくりを実践していきます。

〈役員一同〉

〈支部長〉

鈴木 文子

〈役員〉

吉田 ミツエ

根本 由利子

糸井 ひかる

兼田 涼子

渡部 静香

大星 知佳

〈教育委員〉

富岡 崇

西川 香織

円谷 由里子

吉田 ひとみ

橋本 洋子

〈地域看護活動委員〉

久下 沙織

森合 有希子

青木 和子

郷 順子

鈴木 みゆき

(順不同)

編集後記

今回で14回目の支部だより発行となりました。今後も広報誌を通して皆様に県南支部活動や情報の発信をしていきたいと思っております。

